

【情報の対象】 学=学部生・大学院生 教=現職教員 市=一般市民

募 集

公開講座の受講生 教市

教員養成大学の特色を生かしたラインアップで、皆さんの学習意欲に応えます。

日=日時 所=場所 対=対象 定=定員 料=受講料 申=申込期間

絵画制作

絵画の制作を通し、表現・創作の楽しさを味わうとともに、材料や技法についての知識を高めます(申込者が5人以下の場合は開講しません)。

日 9月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)
10:00~16:00(全4回) 所 加東キャンパス
対 一般市民 定 20人 料 ¥ 8,800円 申 8月31日(日)まで(先着)

身につける小さなアートづくり

芸術性あふれる金属製の小さなオブジェやアクセサリーを制作し、アートを身近なものとして体験します。

日 10月4日(日)、11日(月) 13:00~16:00(全2回) 所 加東キャンパス 対 一般市民
定 15人 料 ¥ 5,460円 申 9月14日(日)まで(先着)



↑絵画制作

社会連携センター ☎0795・44・2053、2409 ☎0795・44・2320

2 月 ~ 5 月 の 主 な 出 来 事

特別支援教育モデル研究開発室
「第3回発達障がい支援
アドバンスド講座」

2月7日 神戸ハーバーランドキャンパス

インクルーシブ教育について考えるパネルディスカッションには、特別支援学校の教員など約60人が参加。本学の樋口一宗教授の進行の下、岐阜市立岐阜特別支援学校の神山忠教諭、東京大学の中邑賢龍教授、本学宇野宏幸教授が地域支援の現状と課題から将来の地域支援を担うリーダー像などについて意見を交わし、最後に加治佐哲也学長があいさつしました。また、計30人が参加した2つのワークショップ型研修では、演劇づくりを通して気づきを促すコンサルテーションの在り方やワールド・カフェでの対話から特別支援教育の共通解をどう育むかなどについて理解を深めました。



板書の達人・田山修三氏の講演会

2月8日 共通講義棟106号室

教材文化資料館開館5周年記念展「めざせ!板書の達人」の特別イベントとして、板書のエキスパートである北海道教育大学岩見沢校の田山修三特任教授による講演会を開催。学生や教育関係者など181人の参加者は、田山特任教授の巧みな話芸と魅力的な資料に引き付けられました。



講演会後のアンケートでは、「非常に役に立つ内容だった」「ぜひ、また開催してほしい」といった声が多数寄せられました。続く関連イベント「第1回板書の達人」の表彰式では、受賞者(教材文化資料館ホームページに掲載)に賞状と記念品が手渡されました。

催し

理科&科学の 地域でのサイエンス祭

市

学校の理科の授業では、じっくりと触れることのできないような実験機器を用意し、子どもたちが自主的に科学実験を楽しみ、感動体験を持つ環境をつくり出すことで、理科好きの子どもたちを増やし、科学への興味・関心を育みます。



- ◎日時／7月30日(木)～8月2日(日) 13:00～16:00
- ◎場所／小野市うるおい交流館エクラ(小野市中島町72) ハートフルサロン
- ◎内容／実験機器展示コーナー、パネル展示コーナー、夏休みの課題サポートコーナー
- ◎その他／危険な機器があるので、小学3年生以下の児童は保護者同伴での参加をお願いします。また、参加に係る障害保険等の加入についても、必要に応じて各自をお願いします。
- ☎ 社会連携センター ☎ 0795・44・2409 ☎ 0795・44・2320

教材文化資料館 平成27年度前期展 「音読のひみつー脳の活性化と教育ー」

学教市

「声に出して読むー音読する」をテーマに、脳科学から発見された音読の秘密や良い声を出す秘密など、国語教科書の歩みとともに構成しています。また、音読教材や脳科学を取り入れ成果を挙げている教育現場についても紹介します。早口言葉のトレーニングなど、楽しめるコーナーも。



- ◎開催期間／8月31日(日)まで
- ◎場所／教材文化資料館(附属図書館内)
- ◎開館時間／平日8:30～22:00、土曜・日曜・祝休日10:00～17:00
- ◎休館日／8月12日(水)～14日(金)、22日(土)
- ※臨時休館する場合がありますので、附属図書館のホームページなどで確認してください
- ☎ 教材文化資料館 ☎ 0795・44・2362

第34回教育実践学フォーラム 「子どもの発達の多様性と それを支える社会的環境」

3月7日 大阪大学中之島センター

連合学校教育学研究科における情報発信や地域貢献を目的として毎年開催しているもので、今年度のメインテーマは「学力や健康に関わる社会的要因と個人的要因ー対立を超えてー」。ゲストスピーカーの鳥取大学地域学部の寺川志奈子教授は、共に遊ぶことや楽しさを共有することの重要性など、10年間にわたるコホート研究結果から得られた知見を紹介。参加した現職教員や大学院生は熱心に聞き入り、質疑応答も活発に行われました。



平成27年度 外国人留学生歓迎パーティー

5月15日 大学会館(食堂)

国際交流センターが主催し、加治佐哲也学長や役員をはじめ、本学関係者、在校生、安田正義加東市長、藤本謙造加東市教育長、国際交流協会役員、フレンドシップファミリーなど約120人、新入留学生約40人が出席。新入留学生の代表者は「勉強だけではなく、友達をつくり、国々の文化の違いを学びたい」とあいさつしました。本学のチアリーディング部やよさこい部、留学生有志によるパフォーマンスや演武、歌などが披露され、会場は一体となって盛り上がりました。

